



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社バローホールディングス 上場取引所 東・名
 コード番号 9956 URL <https://valorholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 田代 正美
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 篠花 明 (TEL) 0574-60-0858
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	399,140	6.5	11,142	16.5	12,643	13.8	6,627	15.5
2023年3月期第2四半期	374,661	2.4	9,567	△23.2	11,106	△20.9	5,736	△6.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 9,222百万円(63.9%) 2023年3月期第2四半期 5,628百万円(△21.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	123.75	123.73
2023年3月期第2四半期	106.81	106.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	433,826	174,868	36.7
2023年3月期	417,107	167,520	36.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 159,337百万円 2023年3月期 152,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	27.00	—	31.00	58.00
2024年3月期	—	28.00			
2024年3月期(予想)			—	32.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	772,000	1.6	20,500	2.2	23,300	1.1	9,300	22.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	53,987,499株	2023年3月期	53,987,499株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	425,079株	2023年3月期	429,374株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	53,559,424株	2023年3月期2Q	53,703,355株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料P. 5「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が第5類感染症に移行したことで行動制限の緩和が一層進み、個人消費の持ち直しや海外からの渡航者の増加など、国内の経済活動の正常化に向けた動きが進む一方で、世界的な金融引き締めに伴う影響、エネルギー価格の高騰や円安を背景とした生活必需品の物価上昇による生活防衛意識の高まりに加え、人件費や物流コストの上昇もあり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、「コネク2030～商品・顧客・社会を繋ぐ」を戦略目標とする中期3ヵ年経営計画の最終年度に当たる当年度においては、製造機能を活かした商品力の向上や来店目的を明確にした「デスティネーション・ストア」への転換を進めました。スーパーマーケット事業では、関西エリアへの新規出店や小規模店舗への生鮮部門の更なる強化を目的とした改装を進め、ドラッグストア事業では、回復傾向にあるインバウンドやメイクコスメなどの需要に対して、ヘルス&ビューティー部門を一層強化するとともに、調剤部門では既存店の調剤併設化を積極的に実施しました。また、ホームセンター事業では、収益基盤の強化に向けてプライベート・ブランド商品の開発に重点的に取り組んだほか、工具資材を専門に扱うプロショップの新規出店や、収益力の高い既存店の全面改装、部門改装を順次実施しました。

一方、顧客との接点強化に向けて、グループ店舗網だけでなく、自社電子マネー「Lu Vit (ルビット) カード」やアプリの活用に注力した結果、当第2四半期末現在の「Lu Vitカード」会員は440万人、アプリ登録会員は92万人となりました。また、4月から「Lu Vit クレジットカード」の募集を開始し、決済多様化への対応をより一層推進しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	増減
営業収益	374,661百万円	399,140百万円	24,479百万円
営業利益	9,567百万円	11,142百万円	1,574百万円
経常利益	11,106百万円	12,643百万円	1,537百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,736百万円	6,627百万円	891百万円

なお、当第2四半期末現在のグループ店舗数は1,327店舗となっております。

連結業績の分析

①営業収益

営業収益は3,991億40百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。スーパーマーケット事業では、株式会社バローの既存店売上高が前年同四半期比4.7%伸長したほか、ドラッグストア事業においても、既存店売上高が前年同四半期比5.9%伸長し、増収となりました。

②営業利益

営業総利益は1,150億38百万円（前年同四半期比6.1%増）、販売費及び一般管理費は店舗の新設に伴う人件費及び賃借料等の増加により、1,038億96百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

これらの結果、営業利益は111億42百万円（前年同四半期比16.5%増）、営業収益営業利益率は前年同四半期比0.2ポイント改善し、2.8%となりました。

③経常利益

営業外収益は23億7百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業外費用は8億6百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

これらの結果、経常利益は126億43百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業収益経常利益率は前年同四半期比0.2ポイント改善し、3.2%となりました。

④親会社株主に帰属する四半期純利益

特別利益7億36百万円（前年同四半期比70.7%増）及び特別損失8億68百万円（前年同四半期比60.7%増）の計上により、税金等調整前四半期純利益は125億11百万円（前年同四半期比13.8%増）、法人税等の合計は48億45百万円（前年同四半期比21.3%増）、非支配株主に帰属する四半期純利益は10億38百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は66億27百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

セグメント別の経営成績

営業収益

	前第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	増減
スーパーマーケット事業	206,401百万円	221,523百万円	15,121百万円
ドラッグストア事業	80,071百万円	85,323百万円	5,252百万円
ホームセンター事業	63,322百万円	63,269百万円	△52百万円
スポーツクラブ事業	4,845百万円	4,899百万円	53百万円
流通関連事業	4,916百万円	8,330百万円	3,414百万円
その他の事業	15,104百万円	15,795百万円	690百万円
合計	374,661百万円	399,140百万円	24,479百万円

営業利益又は営業損失

	前第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	増減
スーパーマーケット事業	5,251百万円	8,134百万円	2,882百万円
ドラッグストア事業	2,117百万円	2,720百万円	603百万円
ホームセンター事業	3,032百万円	2,206百万円	△826百万円
スポーツクラブ事業	△448百万円	△386百万円	62百万円
流通関連事業	1,634百万円	1,816百万円	182百万円
その他の事業	962百万円	180百万円	△781百万円
セグメント間取引消去	△4,472百万円	△4,132百万円	339百万円
全社費用等（注）	1,489百万円	602百万円	△887百万円
合計	9,567百万円	11,142百万円	1,574百万円

（注）全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

＜スーパーマーケット（SM）事業＞

SM事業の営業収益は2,215億23百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は81億34百万円（前年同四半期比54.9%増）となりました。

同事業におきましては、2店舗を新設、1店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在のSM店舗数はグループ合計317店舗となりました。中核の株式会社バローでは、7月に滋賀県内16店舗目となる製造機能を活かした商品力の向上や来店目的を明確にした「DESTINATION・ストア」タイプの「SMバロー草津下物店」（滋賀県草津市）をオープンしました。

同事業では、生鮮・惣菜部門の強化を支える食品加工業及び卸売業が貢献し、株式会社バローにおいて、既存店売上高が前年同四半期比4.7%伸長し、売上総利益率も上昇したため、事業全体で増収増益となりました。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は853億23百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益は27億20百万円（前年同四半期比28.5%増）となりました。

同事業におきましては、7店舗を新設、2店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数は500店舗（うち調剤取扱166店舗）となりました。

同事業では、新型コロナウイルス感染症の第5類感染症移行や夏風邪、インフルエンザの流行により、ヘルスケア、ビューティー関連商品の需要が増加しました。また、原材料価格の上昇による値上げが相次ぐなかでの生活必需品の価格対応や、調剤併設店舗への改装を促進して利便性を高めたことで既存店売上高が前年同四半期比5.9%伸長しました。また、新自動発注システム稼働などの店舗業務効率化による販売費の低減により、増収増益となりました。

<ホームセンター（HC）事業>

HC事業の営業収益は632億69百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は22億6百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。当第2四半期連結累計期間に含まれるアレンザホールディングス株式会社及びその子会社の当該事業の業績は、2023年3月1日から8月31日までを対象としております。

同事業におきましては、収益基盤を強化するために、プライベート・ブランド商品の開発に重点的に取り組んだほか、工具資材を専門に扱うプロショップの新規出店を行いました。しかしながら、生活必需品を中心とした物価高の影響による消費者の節約志向もあり、既存店売上高は株式会社ダイユーエイト、株式会社ホームセンターパロー及び株式会社タイムの3社合計で前年同四半期比1.5%減少し、減収となりました。また、経費削減に取り組んだものの、資源価格の高騰などにより経費が増加し、減益となりました。

なお、店舗につきましては、1店舗を新設、2店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数はグループ合計160店舗となっております。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は48億99百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業損失は3億86百万円（前年同四半期4億48百万円）となりました。

同事業におきましては、一部店舗における営業時間の拡大、会員種別の見直し、専門性強化（スイミング、テニス等のスクール部門強化）により収益の源泉となる会員数が増加して増収となり、営業損失が縮小しました。

店舗につきましては、2店舗を新設、8店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数はグループ合計178店舗（うちフランチャイズ運営43店舗）となっております。

<流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は83億30百万円（前年同四半期比69.4%増）、営業利益は18億16百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。

物流、資材卸売、設備メンテナンスなど、流通に関わる事業に携わるグループ企業では、SM事業等の販売拡大による物量の増加、当期に子会社化した昭和フィルム株式会社及びユニードバック株式会社が寄与し、増収増益となりました。

<その他の事業>

その他の事業の営業収益は157億95百万円（前年同四半期比4.6%増）、営業利益は1億80百万円（前年同四半期比81.2%減）となりました。当第2四半期連結累計期間に含まれるアレンザホールディングス株式会社及びその子会社の当該事業の業績は、2023年3月1日から8月31日までを対象としております。

同事業には、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業、クレジットカード事業などが含まれております。ペットショップ事業では、コロナ禍のペット需要がピークアウトしたことで、特に生体の販売頭数減少が顕著であったものの、ペットシートなどの消耗品、ペットフードなどの売上は堅調に推移し、増収となりました。一方、クレジットカード事業においては、「Lu Vit クレジットカード」への新規入会者を対象としたキャッシュバックキャンペーン等を展開したことに伴う費用の増加などがありました。これらの結果、その他の事業全体で減益となりました。

なお、ペットショップ事業におきましては、3店舗を新設、1店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数は121店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産、負債及び純資産の残高、前期末との増減額及び増減要因は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)	増減
総資産	417,107百万円	433,826百万円	16,718百万円
負債	249,587百万円	258,958百万円	9,370百万円
純資産	167,520百万円	174,868百万円	7,348百万円

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ167億18百万円増加し、4,338億26百万円となりました。これは主に、現金及び預金25億13百万円、受取手形、売掛金及び契約資産52億70百万円、商品及び製品30億96百万円及び投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券25億20百万円がそれぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ93億70百万円増加し、2,589億58百万円となりました。これは主に、有利子負債が2億20百万円減少したものの、支払手形及び買掛金57億67百万円、流動負債のその他に含まれる未払金24億77百万円及び未払費用13億55百万円がそれぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ73億48百万円増加し、1,748億68百万円となりました。なお、非支配株主持分及び新株予約権を除く純資産は1,593億37百万円となり、自己資本比率は36.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通期業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,482	23,996
受取手形、売掛金及び契約資産	16,701	21,971
商品及び製品	59,701	62,797
原材料及び貯蔵品	1,418	1,385
その他	16,379	17,623
貸倒引当金	△11	△269
流動資産合計	115,671	127,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	147,599	149,056
土地	54,524	53,680
その他（純額）	23,280	24,524
有形固定資産合計	225,405	227,261
無形固定資産		
のれん	1,807	1,999
その他	16,619	16,761
無形固定資産合計	18,426	18,761
投資その他の資産		
差入保証金	32,482	32,764
その他	25,460	27,893
貸倒引当金	△339	△358
投資その他の資産合計	57,603	60,298
固定資産合計	301,436	306,321
資産合計	417,107	433,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,504	65,271
短期借入金	31,777	35,947
コマーシャル・ペーパー	19,000	16,000
未払法人税等	4,744	4,990
賞与引当金	3,670	3,943
引当金	730	833
資産除去債務	82	103
その他	30,924	33,905
流動負債合計	150,433	160,995
固定負債		
社債	10,000	10,100
長期借入金	45,766	44,558
引当金	411	481
退職給付に係る負債	6,502	6,636
資産除去債務	18,151	18,313
その他	18,322	17,874
固定負債合計	99,153	97,963
負債合計	249,587	258,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,609	13,609
資本剰余金	20,062	20,084
利益剰余金	119,567	124,528
自己株式	△831	△823
株主資本合計	152,408	157,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	673	2,336
繰延ヘッジ損益	△2	8
為替換算調整勘定	△207	△282
退職給付に係る調整累計額	△138	△123
その他の包括利益累計額合計	325	1,938
新株予約権	19	19
非支配株主持分	14,766	15,511
純資産合計	167,520	174,868
負債純資産合計	417,107	433,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	362,317	386,512
売上原価	266,268	284,102
売上総利益	96,049	102,410
営業収入	12,343	12,628
営業総利益	108,393	115,038
販売費及び一般管理費	98,825	103,896
営業利益	9,567	11,142
営業外収益		
受取利息	62	59
受取配当金	96	111
受取事務手数料	798	800
受取賃貸料	335	408
持分法による投資利益	35	1
その他	947	926
営業外収益合計	2,276	2,307
営業外費用		
支払利息	378	360
不動産賃貸原価	248	331
その他	110	113
営業外費用合計	737	806
経常利益	11,106	12,643
特別利益		
固定資産売却益	12	645
負ののれん発生益	1	15
違約金収入	66	73
補助金収入	14	-
為替換算調整勘定取崩益	163	-
新株予約権戻入益	101	-
その他	72	1
特別利益合計	431	736
特別損失		
固定資産売却損	-	4
固定資産除却損	52	53
減損損失	326	714
固定資産圧縮損	5	-
その他	156	97
特別損失合計	540	868
税金等調整前四半期純利益	10,997	12,511
法人税、住民税及び事業税	4,225	5,053
法人税等調整額	△229	△207
法人税等合計	3,995	4,845
四半期純利益	7,002	7,666
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,266	1,038
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,736	6,627

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	7,002	7,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△922	1,680
繰延ヘッジ損益	△4	10
為替換算調整勘定	△468	△150
退職給付に係る調整額	21	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	△1,373	1,556
四半期包括利益	5,628	9,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,507	8,240
非支配株主に係る四半期包括利益	1,120	981

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,997	12,511
減価償却費	10,101	10,195
減損損失	326	714
のれん償却額	377	344
負ののれん発生益	△1	△15
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△37	253
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	198	128
受取利息及び受取配当金	△160	△170
支払利息	378	360
持分法による投資損益 (△は益)	△35	△1
為替換算調整勘定取崩益	△163	-
新株予約権戻入益	△101	-
固定資産売却損益 (△は益)	△12	△641
固定資産除却損	52	53
売上債権の増減額 (△は増加)	△785	△2,825
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,108	△2,777
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,819	3,573
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△427	3,831
その他	△1,662	△2,339
小計	18,756	23,195
利息及び配当金の受取額	115	126
利息の支払額	△371	△351
法人税等の支払額	△3,078	△4,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,421	18,655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,595	△11,237
有形固定資産の売却による収入	157	1,687
無形固定資産の取得による支出	△802	△888
差入保証金の差入による支出	△604	△920
差入保証金の回収による収入	821	585
預り保証金の受入による収入	105	83
預り保証金の返還による支出	△184	△265
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27	△946
事業譲受による支出	△128	△165
その他	9	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,247	△12,156

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	1,800
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	1,000	△3,000
長期借入れによる収入	3,000	5,500
長期借入金の返済による支出	△8,942	△5,371
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,401	△1,322
配当金の支払額	△1,613	△1,667
非支配株主への配当金の支払額	△295	△324
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	50
その他	8	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,743	△4,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,558	2,176
現金及び現金同等物の期首残高	22,867	20,973
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,309	23,149

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット(SM) 事業	ドラッグ ストア事 業	ホームセ ンター(H C)事業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	206,401	80,071	63,322	4,845	4,916	359,556	15,104	374,661
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,709	110	848	257	17,456	21,383	1,938	23,322
計	209,111	80,181	64,170	5,103	22,372	380,940	17,043	397,983
セグメント利益又は損失(△)	5,251	2,117	3,032	△448	1,634	11,587	962	12,550

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業などであります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	11,587
「その他」の区分の利益	962
セグメント間取引消去	△4,472
全社費用等(注)	1,489
四半期連結損益計算書の営業利益	9,567

(注) 全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において閉鎖が予定されている店舗について「スーパーマーケット(SM)事業」セグメント13百万円、「ドラッグストア事業」セグメント10百万円、「ホームセンター(HC)事業」セグメント41百万円、「スポーツクラブ事業」セグメント260百万円及び「その他」0百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット (SM) 事業	ドラッグ ストア事 業	ホームセ ンター(H C)事業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	221,523	85,323	63,269	4,899	8,330	383,345	15,795	399,140
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,966	110	844	368	16,312	20,602	1,404	22,006
計	224,489	85,433	64,113	5,267	24,642	403,947	17,200	421,147
セグメント利益又は損失(△)	8,134	2,720	2,206	△386	1,816	14,491	180	14,672

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業、クレジットカード事業などがあります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	14,491
「その他」の区分の利益	180
セグメント間取引消去	△4,132
全社費用等(注)	602
四半期連結損益計算書の営業利益	11,142

(注) 全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において閉鎖が予定されている店舗について「スーパーマーケット(SM)事業」セグメント416百万円、「ドラッグストア事業」セグメント225百万円、「スポーツクラブ事業」セグメント3百万円及び「その他」67百万円の減損損失を計上しております。